

八峰コミスク通信

秋本番を迎え、周辺の山々も少しずつ色付き始めました。各学校では、秋にふさわしい学習活動が、地域の皆さんのご協力で行われました。

地域と学校の連携・協働

地域の皆さんと学習した各校の活動を紹介します

峰浜小学校

一、二年生 さつまいも収穫 (九月二十七日)

学校近くの畑で、ポンポコ子ども園のひまわり組の皆さんも参加して行いました。

地域の田村さんが苗植えの時と同じように、

収穫のお手伝いをしてくださいました。畑を手で掘り起こし、土の中から大きく育ったさつまいもを掘り当てると大きな歓声を上げていました。収穫したいものは、一緒に活動した子ども園の皆さんにもプレゼントされました。



二年生 町探検 (九月二十七日)

生活科の授業で、町探検を行いました。峰浜駐在所、皆川薬局、峰浜郵便局を訪問しました。



峰浜駐在所では、パトロール、勤務などについて、質問に答えてもらいました。駐在所にある道具やパトカーを見せてもらい、タブレットで写真に撮ったり、一生懸命にメモをとったりしていました。

令和5年度
第12号
R5/10/27
CSディレクター
三浦

五年生 稲刈り (十月四日)

小手萩地区の田んぼで、稲刈りを行いました。

田植えから、ずっと田んぼの管理をしてきてくれたJA青年部の皆さんが、協力してくださいました。子どもたちは稲刈の使い方や安全な刈り方を教わったり、コンバインでの刈りの様子を見せていただきました。また、稲刈りの活動を、手伝っていただきました。

前々日の雨の影響で、田んぼはぬかるみ、五年生は足首まで泥に埋まりながら、汗をかいて、自分の場所の稲を刈り取りました。



八森小学校

一、二年生 ぶなツラド探検 (十月二日)

ジオパークガイドの山崎さんが案内してくださいました。周辺を散策しながら、黒く熟したナツハゼの実を食べたり、カツラの葉の甘い香りをかい取りました。オオバコの葉を使った引き相撲の対戦や、笹舟の作り方を教わり、自然の中で、たくさん体験をしました。



探検の最後は、森林科学館のまわりで、トチの実や松ぼっくり、落ち葉などを採集し、身近にある秋の自然を満喫しました。

さつまいもの収穫 (十月十日)

全校児童に、八森子ども園の年長さんが参加して、さつまいもの収穫が行われました。



八峰中学校

秋のシオリレッキング (十月五・六日)

町の生涯学習奨励員の皆さんのガイドで、地域探訪が行われました。五日は一・二年生が、六日は三年生が行いました。

JA婦人部の皆さんが、苗植えの時と同じように、収穫のお手伝いをしてくださいました。縦割り班ごとに、上級生が園児や下級生のお世話をしながら、苗植えをした場所の土を掘り起こし、芋掘り作業に取り組みました。あいにく、途中から雨が降り出しましたが、雨にも負けず、協力して、大きなさつまいもをたくさん収穫できました。



今年、峰浜地区の岩子方面から、目名瀉、水沢地区を巡るコースでした。バスに分乗し、生涯学習奨励員の方がそれぞれ地区の説明をしてくださいました。あいにくの雨模様で、バスの中からの探訪になりましたが、学区内にあっても、初めて目にしたり、聞いたりする物事が多く、地域の歴史やふるさとについて知る貴重な機会になりました。

六日(金)には、全校生徒で、峰浜地区を紹介する紙芝居の鑑賞しました。生涯学習奨励員の会長の山本さんが、自作の紙芝居で峰浜の各地区の歴史や出来事、功績を残した先人などについて、紹介してくださいました。

